

2025 年度(第7回)日本口蓋裂学会認定師認定審査について

－ 口腔外科分野の手引き －

日本口蓋裂学会では、多職種連携のもと、より良い口唇裂口蓋裂治療を実践していただくべく、また、国民に対して本疾患治療の専門性の理解を深めていただくべく 2019 年度より日本口蓋裂学会認定師制度を導入しております。審査は、書類審査で行いますが、申請者自らの分野での口唇裂・口蓋裂治療の具体的症例に加え、他分野との連携した治療についての代表的な経験症例を重点症例として提出していただき、それら書類について認定師認定委員会において、他分野の委員の陪席のもと公正に審査を進めていきます。

申請者は、手引き内容に従い、経験が十分判断されるように説明と資料添付を行い、漏れや誤りなく、期限厳守で提出をしてください。

2025 年 9 月
認定師認定委員会
委員長 飯田征二

1. 書式 4、5、6 の説明

書式 4: 重点症例記録 (Powerpoint; A4 (横) プリントアウト)

主たる担当症例 3 症例

- ・申請者が、主として自ら治療を担当した代表的症例の手術の治療記録を出してください。
- ・以下の 7 項目から 2 項目以上を選択 (例えば、口唇裂二次手術 2 例と口唇裂鼻形成手術 1 例は可。)

a. 初回口唇裂手術、b. 初回口蓋形成術、c. 口唇裂二次手術、d. 口唇裂鼻形成手術、e. 顎裂部骨移植術、f. 再軟口蓋形成術・咽頭弁移植術、g. 顎矯正手術、h. 口蓋残遺孔閉鎖術 (舌弁等)

- 1) 臨床写真、診断画像には撮影日 (経過日数) を記載 (例: 2018 (平成 30 年) 8 月 13 日 (205 日))
- 2) 写真は、術前、術中、術後 (180 日以降) の写真を添えること。
- 3) 口唇裂に関する手術では、術前、術後の顔貌写真は正面と下からの仰角写真を添えること
- 4) 口蓋裂手術では、術後の鼻咽腔閉鎖機能を示す記載
- 5) 顎矯正術では、術前、術後の顔貌 (正面、側面) と術前後の咬合の写真、術前ならびに術後 180 日以降の CephaloXP (正面、側面) とパノラマ写真、側面 CephaloXP トレース重ね合わせ
- 6) 顎裂部骨移植術など骨に関する手術では、手術内容が分かるように術前術後の CT、3DCT、単純 X 線写真、パノラマ写真などの画像
- 7) 記載に際しては、診断名を含め歯科用語集を参照にすること。また、使用薬剤名は商品名ではなく

一般名を用いること。

8) 同一手術内容の図については症例毎の違いがわかるようにすること。

9) 記載された図が評価水準に達していない場合や手術内容を適切に示していない場合は減点の対象とする。

・該当症例での他分野との治療連携を必ず付記してください。提出記録の手術と直接の関連がなくても、該当症例の一連の治療経過中での他分野との連携記録を付記してください。(例えば、初回口唇裂手術例での歯科矯正医との連携記録、口唇裂鼻形成術例での音声言語との連携記録は可。)

書式 5: 報告症例記録 (Excel; A4 (横) プリントアウト)

ミニレポート 5 症例

・申請者が、指導、執刀、助手として治療に関係した手術症例の治療記録を出してください。

・以下の 7 項目から 3 項目以上を選択

a. 初回口唇裂手術、b. 初回口蓋形成術、c. 口唇裂二次手術、d. 口唇裂鼻形成手術、e. 顎裂部骨移植術、f. 再軟口蓋形成術・咽頭弁移植術、g. 顎矯正手術、h. 口蓋残遺孔閉鎖術 (舌弁等)

・症例ごとに手術内容が理解できる付図 1 点以上を必ず添えてください。(臨床写真は不可)

記載は明朝フォント 12Pt で記載し、A4 用紙 1 枚に症例毎に記載すること。

指導者がいる場合は指導者氏名を記載すること。

1) 記載に際しては、診断名を含め歯科用語集を参照にすること。また、使用薬剤名は商品名ではなく一般名を用いること。

2) 同一手術内容の図については症例毎の違いがわかるようにすること。

3) 記載された図が評価水準に達していない場合や手術内容を適切に示していない場合は減点の対象とする。

*: 注意点: 提出症例の扱いについて

・重点症例内で、同一症例で手術 (a~h) が異なれば、別症例として提出を可とします。

・重点症例と同一症例で手術項目が同一である場合は、報告症例への提出は重複として不可とします。ただし、手術項目が異なれば可とします。

- ・ 同一症例の同一手術の主たる術者は 1 名に限ります。審査上疑義がある場合は、手術記録の提出などを求めることがあります。

書式 6:業績目録(Word;A4(縦)プリントアウト)

申請者の下記条件の業績を列記してください。

- ・ 口唇裂・口蓋裂に関する医学雑誌か著書で、筆頭あるいは共同著者の論文か著作で、代表的なもの 1 件。
- ・ 口唇裂・口蓋裂に関する学会、研究会などで、筆頭あるいは共同発表で、代表的なもの 2 件。
- ・ 注意事項を守って記入し、自署、捺印をしてください。

他に、日本口腔外科学会認定専門医の認定証の写しを添えること

2. 問い合わせ、送付先

症例内容などの学術的質問、あるいは申請書類の記入方法、申請方法などの事務的質問は、日本口蓋裂学会事務局に、所属分野とご氏名を申し出て、メールでお問い合わせください。

一般社団法人日本口蓋裂学会事務局
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12
新宿ラムダックスビル 9F 株式会社春恒社内
jcpa-office@shunkosha.com